

特

277  
62

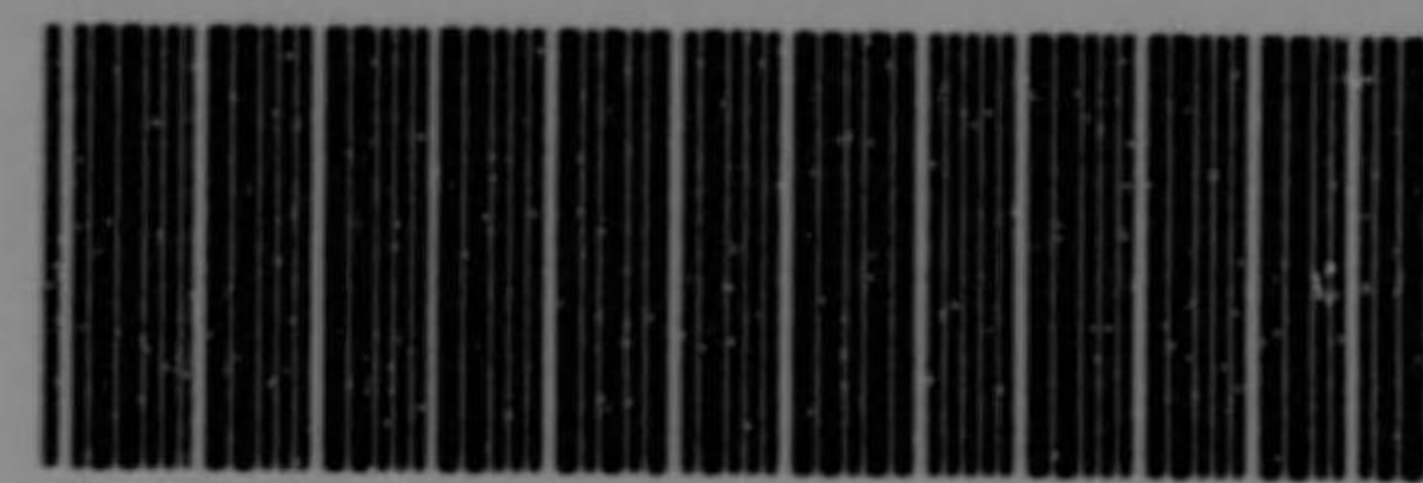


代  
謄  
寫

第一委員會速記錄(五)

(第一回第一小委員會)

大政翼贊會



\*0004903000\*

0004903-000

特277-62

第一委員會速記錄

大政翼贊會

5

[昭和16]

ABC

### 第一委員會第一小委員會速記録(第一回)

場所 本部五階

日時 昭和十六年八月十八日(月曜日) 午前九時四十五分開會

出席委員(順不同) 内ヶ崎委員長 赤神委員 佐藤(洋)委員 澁澤委員、秋岡委員 植木委員 大倉委員

内ヶ崎委員長 コレヨリ第一小委員會ヲ開キマス。豫メ各委員ノ方々ニ對シマシテ、具體的審議項目ノ御提出ヲ御願ヒ致シテ居ツタノデアリマスガ、私自ライロク、多忙ナコトガアリ、マダ出シテ居ナイノデ甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、ココニ赤神、佐藤(清)、大倉、秋岡、植村、植木ノ各委員カラ御提出ニナツテ居リマスカラ、一應コレヲ朗讀サシテ戴キタイト思ヒマス。

〔保員朗讀〕

### 審議調査項目案

一、國民精神ノ意義闡明ノ問題

赤神委員

- 一、翼贊術語ノ規格統一ノ問題
- 二、昇揚運動ノ準則問題
- 三、所謂「根本問題」ノ限度範圍ノ問題
- 四、昇揚方式ノ問題

### 審議調査項目案

秋岡委員

- 一、國體觀念昇揚ノ中樞機關トシテ現行神祇院ノ機構ヲ強化擴大シ神祇ニ關スル特別官衙(假稱神祇省)設置ノ件
- 一、明御神信仰ノ徹底ヲ期スルコト
- 一、敬神崇祖ノ美風ヲ振作昇揚シ家庭祭祀ノ徹底齋行
- 一、承詔必謹

一、師範學校ニ神祇科ヲ加ヘ國民教育ニ神祇崇敬ノ意義ヲ浸透セシムルコト

一、帝國大學ニ神祇科ヲ特設スルコト

一、大學ノ必須科目中ニ神祇ニ關スル科目ヲ特設スルコト

一、日本精神昂揚ニ資スルタメ先覺、勤王烈士ノモノサレタル詩歌ヲ國民ニ吟詠セシムルコト

大倉委員

一、國民精神ノ根本ハ神ナガラノ大道ニ據ル。神ナガラノ大道ハ天津神ノ詔及ビ五大神勅ニ基ク肇國ノ精神ヲ初メトシテ御歷代天皇ノ勅語詔書ニ顯現セルモノト思考ス之ガ具體化トシテ

1 修理固成—破邪顯正、創造建設

2 祭政一致—皇道政治

3 八紘一字—一視同仁、世界平和

ノ三項目ヲ明カニスルコト

二、右ヲ實現スルタメノ臣民ノ道ハ現御神信奉ニ發シ現御神信奉ニ歸着スルコトヲ明カニシ其内容トシテ

1 大權隨順

2 職域奉公

3 大和協力  
ノ眞意義ヲ明カニスルコト

### 審議調査項目案

植木委員

思想統一ニ關スル問題

一、國體觀念ノ闡明ト其ノ宣揚方策ニ關スル件

二、敬神尊皇ニ關スル件

(一) 敬神崇祖ノ實踐

各戸ノ神棚奉安、各戸ノ靈屋設備、社頭通過ノ際ノ敬禮  
家庭祭祀ニ關スル教習

(二) 尊皇思想ノ肅正

聖影ニ對スル恭敬、宮城遙拜

(三) 集會開始ノ際ニ於ケル宮城遙拜、神宮遙拜、國歌齊唱

國民生活教育體系ノ整備確立ニ關スル問題

一、國民鍊成ノ方法トシテノ稟訓練ノ件

二、國旗ニ關スル件

三、地方部落ニ於ケル年中行事ニ對スル考查及ビ指導ノ件

### 國民娛樂ニ關スル問題

一、農山漁村ニ於ケル民衆娛樂ニ關スル件

盆踊、村相撲、部落劇、式道鍊磨、競技等ニ對スル指導及ビ獎勵

### 審議調査項目

佐藤(清)委員

一、思想統一ニ關スル問題

二、文化機構整備ニ關スル問題

三、國民生活、教育體系(社會教育體系)ノ整備擴充ニ關スル問題

問題

四、國民娛樂ニ關スル問題

五、國民道德監察制度ノ創設

六、宗教、政治、法律、經濟ノ根柢ニ關スル問題

七、國民生活ノ根柢ニ關スル問題

提案理由—第三次近衛內閣成立ニ際シ、近衛總理大臣ノ言ニ、國體ノ本義ニ則リ、國家體制ノ整備ヲ念ガネバナラヌト言ハレテ居ル。從來ハ文化ノ意味ニ於テ、宗教、政治、經濟ヲ除カレテ居ツタノデアルガ、政治經濟モ文化ノ一部分デアル。

### 内ヶ崎委員長

以上ガ御提出ニナツテ居ル分デアリマスガ、尙御提出ニナツテ居ラナイ方々ハ、取急ギ御提出ヲ願ヒマス。又、今日缺席ノ各位ニ對シテハ、事務ノ當局ヨリ御催申上ゲマシテ、速カニ御提出ヲ御願ヒスルツモリデアリマス。時局ノ緊迫ト共ニ、我々ノ委員會ノ審議項目ヲモ、出來ルダケ速カニ決定致サナケレバナラナイト思フノデゴザイマス。不肖委員長ヲ仰セツカリマシテ恐縮致シテ居リマスガ、各位ノ御協力御援助御鞭撻ニ依リマシテ、職分ヲ完フ致シタイト思ヒマスカラ、宜シク御願ヒヲ致シマス。

大倉委員ガ御出席デアリマスカラ、ココニ御提案ノ御案ニツイテ、御説明ヲ願ヒ致シタイト思ヒマス。

大倉委員 チョット御断リ致シテ置キマスガ、私ハ第一小委員會デハナクテ、第二小委員會ノ方ニ入ツテ居リマス。提出シマシタ時ハ、第一第二ト切離サルベキモノデハナクテ、第一カラ流レタモノガ第二ニ行クト云フ關係カラ、一貫シテ意見ヲ出シテ置キマシタ、恐ラク第一ヲ説明セヨト云フ御考デアリマセウガ、私ハ第二委員會ニ屬シテ居リマスガヨロシウゴザイマセウカ。

内ヶ崎委員長 ドウゾ一ツ……。

大倉委員 私ハ大體第一委員會ノズツト續ケラレタ議會ノ模  
樣ヲ見マシテ、ドウモ第一委員會ノ目指シテ居ルモノハ、  
結局纏リハナカク、着キニクイト云フ目安ヲツケタ。ソレ  
ハ着ケヨウト思ヘバ着カナイコトハナイデセウガ、恐ラク  
不十分ナ不完全ナモノニ終リハシナイカ、殊ニ結論ニ至ッ  
テ……初メト終リダケハ勿論、皆ノ意見ハ一ツノモノニナ  
ルカハ存ジマセヌケレドモ、中間ノ説明形式ガ違フヤウニ  
私ハ感ジマシタ。私ハ簡單ニモノヲハツキリサセテ行クコ  
トガヨイト思フノデ、コレカラ造リ出スモノデハナクテ、  
在ルモノデ、而モソレガ非常ニ重大ナ根本的ノモノガ一方  
ニ明ラカニナツテ居ルモノヲ抜キニシテ、更ニ別ニ捨ヘテ  
行クト云フコトガドウ云フモノカト云フ考カラ、専ラカウ  
云フ案ヲ練ツタノデアリマス。イハユル御詔勅ニ依ツテ、  
日本人ハ進ンデ行キタイ。ソノ御詔勅ノ解釋ト云フコトハ  
イロ／＼違識カラ、學問的或ハ宗教的、實行的ノ面カラ説  
明ガツクト思ヒマスガ、ソコデ神勅御勅語ト云フモノヲ基  
礎ニシタノデアリマス。例ヘバ明治天皇ノ御詔勅ヲ拜シマ  
ストソノ時ソノ場所デ仰セ出サレタ御勅語ガ二百六十一ア  
リマス。大正天皇ガ二十九デアリマス。今上天皇陛下ニナ

フ點ヲ擧ゲテ、コレデーツ説明ヲシテ行ツタ方ガヨイノデ  
ハナカラウカ。私モ理論的ニ説明ヲシヨウトスレバシタイ  
ノデアリマスガ、ソレハモウ過去ニ於テ甚ダ無力ダト云フ  
コトヲ承知致シテ居リマス。例ヘバ國民精神總動員デハ、  
丁度カウ云フヤウナ國體哲學ト云フモノカラ明ラカニナラ  
ナケレバナラヌト云フノデ、ソノ源泉ニ非常ニ重キヲ置イ  
タノデアリマス。サウシテ相談シタ結果結局纏ラナイ。ソ  
レカラ一ツ各自ガ自分ノ思フコトヲ書イテ一冊ノ本ニシタ  
ラヨカラウト云フノデ、大部ノ本ガ出來テ居リマスガ、結  
局一冊ノ本ガ出來タニ止ツタ。又イマ少數ノ委員ガ、國體  
ノ哲學ヲ作ツタト云フコトデハ、私ハ全國民ガ果シテソレ  
ニ統一スルコトヲ承知スルカシナイカト云フ氣モ致シマ  
ス。私ハ大御心ヲ中心ニシテ行クトソノ考ヘヲココデ申シ  
タニ過ギマセヌ。尙細カイコトハ書イテ出シマストカ、若  
シマタ機會ガアツタラ述ベサシテ載キタイト思ヒマス。  
内ヶ崎委員長 次ハ秋岡委員ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス。  
秋岡委員 私ノ提案致シマシタノハ如何ニモ應念ノ問題デア  
ル感ガアリマスガ、併シ根本的ノ問題デアリマシテ、極メ  
テ緊急ヲ要スルモノト考ヘテ居ルノデアリマス。先ヅ第一

リマシテカラ四十二ノ御詔勅ガ出テ居リマス。斯ク多數ノ  
御詔勅ヲ拜シマスルト、國民ノ向フベキ處、マタ國民ガ考  
ヘナケレバナラヌコトガ明ラカニナツテ居ルノデアリマシ  
テ、コノ以外ニ西洋ノ理窟デ考ヘタヤウナコトヲシテ、益  
益混亂ニ陥レルコトノナイヤウニ、ハツキリシタコトガヨ  
カラウト云フノデ御詔勅ヲ基礎ニシタノデアリマス。ソノ  
御詔勅ヲ取ツテ、ココニ修理固成トカ、祭政一致トカ、八紘  
一字トカ、語呂ハ大變ヨロシウゴザイマスガ、口ダケノ御念  
佛ニナツテシマツテ本當ノ内容ガ分ラナイト云フノデ、修  
理固成ヲ破邪顯正、創造建設トカ、祭政一致ヲ皇道政治、  
八紘一字ヲ一視同仁トカ世界平和ト云フヤウニ説明シテ行  
クナラバソレガ國體ノ本義ニ相應シイモノデアリマシテ、  
ソレカラソノ實現方法トシテハ、先ヅ大權隨順ト云フコト  
ヲ擧ゲマシテ、大權隨順ハ官民兩面ニ亙リ、天皇ノ大御業  
ニ翼贊シ奉リ、役人ハイハユル「ミコトモチ」デ、陛下ノ  
大御心ニ副ヒ奉ルト云フコトハ官吏服務紀律ノ第一條第二  
條ニ明ラカニナツテ居リマスカラ、サウ云フコトデ我々國  
民トシテハ、天皇ノ大御業ニ翼贊シ奉リ、天皇ノ御詔勅ヲ  
本當ニ味ヒ實行スルコト。第二ハ職域奉公、大和協力ト云

ニ國體觀念昂揚ノ中樞機關トシテ現行ノ神祇院ノ機構ヲ更  
ニ一段ト強化相成リマシテ、イハユル神祇ニ關スル特別官  
衙或ハ神祇省ト申シマスガ、ソノ名稱ハ兎ニ角トシテ、イ  
マ少シ強力ナル神社行政ノ機構ヲ整ヘル必要ガアルト考ヘ  
テ居リマス。今日ノ神祇院ト云フモノハ神社行政事務ノ一  
般ヲ司ルノデ、ソノ中核ヲナス祭祀ニ關シテハ、固ヨリ御  
監督御指導ニハナツテ居リマスガ、神祇院自ラガ祭祀ヲ執  
行サレテ居ラレルノデハナイノデアリマス。我が國東亞ノ  
建前カラ申セバ、ドウシテモ臣民翼贊ノ道ト致シマシテ、  
神祇ヲ奉齋スルコトハ最モ大事デアルト考ヘテ居リマス。  
更ニ言ヒ換ヘマスレバ、臣民ノ翼贊奉仕ノ顯現ト考ヘマス。  
神祇奉齋ト云フコトハ、政府ガソノ責任ヲ以テ御執行ニ相  
成ルベキモノト考ヘテ居リマス。ソレハ古キコトヲ申上ゲ  
マスト非常ニ長イノデアリマスケレドモ、天孫ノ御降臨ア  
ラセラレマス時ニ、高皇產靈尊ハ神籬ヲ授ケニナリマシテ  
サウシテ臣民翼贊ノ尊キ訓ヘヲ垂レ給フタ——天兒屋根命  
ニ御勅命ニ相成リマシテ御自身ハ高天原ニ於テ皇孫ノ御安  
泰ヲ祈リ申上ゲ、天兒屋根命ハ、今自分ガ授ケル此神籬ヲ奉  
持シテ、豐葦原中津國ニ降り、皇孫ノ玉體ノ健カデアラレル

ヤウニ御願ヒ申上ゲヨト云フ、有難イ勅語ヲ下サツタノデアリマス。コレガ我が國ノ神社ノ祭祀ノ起源デアリマシテ、國家ガ神祇ヲ崇敬シマシテ、天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼シマツルノ根元ハココニアルノデアリマス。斯様ナコトヲ考ヘルトキ、イハユル臣民翼贊ノ大任ヲ果シマス爲メニハ、ソノ詔勅ヲソノ儘現實ニ奉戴致シマシテ、國家行政ノ機構ノ中ニ十分ニ反映セシメル、寧ロコレヲ中核トシテ政治ガ行ハルベキモノト考ヘルノデアリマス。長レナガラ明治初年ニアリマシテハ、八省ノ上ニ 明治天皇ノ大御心ニ依リ神祇官トシタノガ御實行ニ相成ツタノデアリマスガ、既ニ今日中絶シテ居リマスコトハ、誠ニ遺憾千萬デアリマス。ドウシテモコノ御訓ヲソノ儘昭和ノ御代ニ現ハシテ、サウシテ臣民翼贊ノ本分ヲ致サナケレバナラヌト考ヘタノデアリマス。サウ云フコトヲ考ヘマス、ドウシテモ今日ノ神社院デハモノ足ラヌノデアリマシテ、祭祀ヲ根幹トシタ神社ノ事務一般ノ行政ヲ司ルコロノ大キナ機關ガナケレバナラヌ、寧ロアルノガ本體デ今日ソレガナイトイフコトハ、誠ニ遺憾千萬デアリマス。コノ頃臣民翼贊ノ大道ヲ各自皆認識致シマシテ、コノ翼贊會ト云フ大キナ會モ出來テ居リ

ソレカラ敬神崇祖ノ件、コレ亦特別官衙ニ關係ガアルノデアリマス。敬神崇祖ガ出來ルト云フコトハ、ドウシテモ自分ノ家庭ヨリ振起昂揚サレネバナラヌ。家庭ニ於テ神々ヲ崇敬シ、祖先ノ御靈ヲ齋キマツルト云フコトハ、我が國肇國以來ノ國民的美風デアリマス。所ガダン、時代ガ變リ、忙シサノアマリカウ云フ事ガトモスレバ等閑視サレル様ニナツテ居リマス。家庭ノ堅實ナル生活ヲ營ミマス上ニ於キマシテハ、何トシテモ敬神崇祖ヲ根幹トシナケレバナラヌト思ヒマス。家庭生活ノ根本ガ、國家ノ根本ガ祭祀ニ懸ツテ居ル様ニ、敬神崇祖ニ懸ツテ居ルガ故ニカウ云フ事ハ十分ニ認識ヲ高メサセル様ナ運動ガ起ラナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス。近時、伊勢ノ大麻ヲ出シマシテ、國民皆敬神ノ實ヲ舉ゲテ居ル事ハ、誠ニ結構デアリマスケレ共、尙一段トコノ件ニツキマシテハ、十分ニ國民精神ヲ振作昂揚スルノ餘地ガアルト考ヘテ居リマス。承詔必謹ハ申ス迄モナイノデアリマス。詔ヲ承レバ謹ンデコレヲ實行シテ行ク。コレハ我が國民精神ノ尊イ偉大ナルトコロデ、特ニコレハ非常時局下ニ強調シマシテ、臣民一億心ヲ一ニシテ、臣節ヲ完フシナケレバナラヌト考ヘル

マスガ、コノ時は非コノ問題ヲ取上ゲマシテ、古ノ姿ニ歸シ、サウシテ現在ノ行政ノ上ニ於テモ、十分ノ力ノアルモノヲ作ツテ戴キタイト云フノガ、私ノ提案ノ理由デアリマシテ、臣民ノ翼贊大道ヲ具現致シマスニハ、コレガ根本的ノモノデアルト云フコトヲ痛感致シテ居リマス。尙コレ等ノ沿革、起原、ソノ他ニツキマシテハ、御話ヲ申上ゲルト相當長クナリマスカラ、コノ位ニ致シマシテ、要ハ祭祀ノ他コレニ關スル行政ヲ行フ特別官衙ヲ一時モ早ク御實施ニ相成リマシテ、本當ニ國民ニ臣民翼贊ノ大任ヲ果スト云フコトハ、祭祀ヨリ起ルト云フコトヲ御明示アルコトガ、最モ必要デアルト思フノデアリマス。

ソノ次ニ明御神信仰、寧ロ信奉ト申ス方ガ早イカト思ヒマスガ、ソノ徹底デアリマス。明御神ノ信奉ノ徹底ト云フコトハ、神祇官ト云フモノガ確立サレマスレバ、忽チコレハ出來ルコトデアリマス。高皇產靈神ガ天兒屋根命、天太玉命ニ下シ給ハリマシタ神籬彌榮ノ御神勅ヲ奉戴致シマスレバ、コノ問題ガ徹底モシ、國民モ亦コレヲヨク實踐致スコトト考ヘテ居ルノデアリマシテ、コレモイロ、申述べルコトハナイト存ズルノデアリマス。

者デアリマス。コノ問題ニツイテモ教育勅語或ハ成申詔書ヲ奉戴スルトカイロ、アリマセウガ、兎ニ角、詔書ヲ必謹致シマシテ、臣節ヲ完ウスルコトヲ、十分ニ確立相成タイト思フノデアリマス。

次ハ、師範學校ニ神祇科ヲ加へ、國民教育ニ神祇崇敬ノ意義ヲ浸透セシムルコト、從來ハ神祇崇敬トソノコトガ特殊ノ人ニ依ツテコレヲ強調サレテ居ツタノデアリマスガ、コノ頃ハモウ國民皆ソノ本義ニ徹シマシテ、敬神崇祖ヲ念トシテ居ルコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、今後ドウシテモコノ精神ヲ強調シマスニハ、國民教育ニ携ツテ居ラレルトコロノ先生方ガ、神祇ニ關シテ透徹シタル信念信仰ヲ持ツテ、ソノ指導ニ當ラレルコトガ一番必要デアルト思フ。殊ニソレガ爲ニハ、師範學校ノ教科目中、神祇ニ關スル特別ノ學科ヲ授ケニナリマシテ、サウシテ將來教壇ニオ立ちニナツテノ國民ノ指導啓發ノ上ニ於キマシテ、ドウシテモ敬神尊皇、神祇崇敬ト云フコトヲ第一義トシテ御指導相成ルコトガ、一番必要デアルト思フノデアリマス。今日師範學校ニハ時々サウ云フ施設ノアルノヲ聞キマスケレドモ、全國ノ師範學校ニ神祇科ヲ設ケテ、師範學校課程ヲ卒

業シタ者ガ、皆神祇ニ關スル相當ナ知識ヲ持ツテ教壇ニ立  
ツトコロ迄行ツテ居ナイノヲ、私ハ残念ニ存ズルノデアリ  
マス。近時小學校ノ教科書中ニ、神祇若シクハ國體ニ關ス  
ルコトガ、十分盛込マレテ居ルコトハ結構デアリマスガ、  
尙ソノ教ヘル人方神祇ニ關スル十分ノ知識ト、敬神ノ念ニ  
燃エテ、第二ノ國民ヲ指導啓發スルヤウニ相成リマスレバ  
一段ト効果ノアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス。是非  
師範學校ニ神祇科ヲ加ヘラレムコトヲ要望致スノデアリマ  
ス。ソレト同様ニ、帝國大學ニ神祇科ヲ特設スル意見ヲ強  
調致シタイノデアリマス。イマ神祇ニ關スル講座ガアルヤ  
ウデアリマスケレドモ、ソレハ隨意科ノヤウニ聞イテ居ル  
ノデアリマス。私ハ神國日本ノ帝國大學ニ於テハ、ドウシ  
テモ神祇ニ關スル科ヲ獨立シテ存在スベキモノデアルト考  
ヘテ居ルノデアリマス。而シテ今尙ホコレガナイト云フコ  
トハ、誠ニ遺憾デアリマス。左様ナ見地ニ立チマス時ニ、  
大學ノ必須科目ニ神祇ノ一科ヲ設ケラレテ、サウシテ法律、  
經濟、文科ノ學生ニ總テコレヲ修得セシメテ、ソレノ  
職域ニ於テ御奉公申シマスレバ、最高學府ヲ出マシニナ  
フタ方々ニ依ツテ、日本ノ國體ノ愈々尊キ所以ヲ國民ニ周

知サセ徹底セラレルコトガ出來ルト固ク信ズル者デアリ  
マス。

ソノ次ハ極ク簡單ナモノデアリマスガ、日本精神ノ昂揚  
ニ資スル爲ニハ、從來ノ勤王烈士先覺ノ士ニシテ國家非常  
ノ際ニ身ヲ捨テ、君國ノタメニ盡シ、國恩君恩ニ答ヘラレ  
マシタ尊キ人ノモノサレタル詩或ハ和歌ト云フノガ相當ア  
ルノデアリマス。カウ云フモノヲ國民ニ吟詠サセテ行キマ  
スナラバ、自ラ心ノ底ニ流レテ居リマス日本精神ト云フモ  
ノガ躍動シテ參ルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス。斯  
様ナ卑近ナ例ニ依リマシテ、國民ノ意識ヲ昂揚シ、振起シ  
得ルト、私共ハ存ジテ居ルノデアリマス。斯様ナ見地ニ依  
リマシテ、少シ遠慮イ感ガアリマスガ、以上ノ項目ヲ並べ  
タノデアリマスガ、最後ニココニハ項目トシテ提案シテ居  
ラヌノデアリマスガ、希望ヲ申述ベテ置キタイト思フノデ  
アリマス。ソレハ大政翼賛會ノ組織機構ヲ見マス、十分  
ニ御検討ニ相成リマシテ、今日ノ非常時局ニ處スルコトノ  
出來ル施設デアルトハ考ヘテ居リマスケレドモ、ダンクノ  
時局ガ逼迫シテ、眞ニ一億國民ガ一身トナツテ、コノ非常  
時局ヲ乗切ルト云フ爲ニハ、思想對策ト云フコトガ非常ニ

大事デアルト考ヘルノデアリマス。思想問題ト云フモノハ  
元來容易ナ問題デハナイノデアリマシテ、國民ノ思想ニ對  
シテノ對策ト云フモノハ、相當注意ヲ要スルコトデアリマ  
シテ、政府ニ於テモ相當ニコレ等ニツイテ御感ジニナリ御  
計畫ガアルヤウニ承ツテ居リマスガ、私ハ翼賛會ノ名ニ於  
テ思想對策ノ強力ナヤツヲ作ツテ載キタイト思ヒマス、思  
想局ト申シマスルカ、本當ニ國民思想ノ研究ナリ、國民精  
神ノ研究ナリ、根本的ノモノヲ取扱ツテ、惡思想ニ對シテハ  
十分ニ取締リ、善キ思想ニ對シテハ、十分ニ振起昂揚スル。  
換言スレバコノ大切ナル臣民翼賛ノ機構ノ中ニ、思想對策  
ト云フモノニツイテノ權威アル一ツノ機關、機構ノ具現ヲ、  
一日モ早クナサレムコトヲ、切ニ私ハ希望致スノデアリマ  
ス。而モソレハ現下緊迫セル時局ニ際シテ、第一義ニ……  
最モ必要ナルモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス。  
コノ點ヲ私ハ特ニ御願ヒ申シテ置キタイト思フノデアリマ  
ス。大體私ノ提案致シテ居リマス要領ダケヲニコニ御説明  
申上ゲタダデアリマス。

内ヶ崎委員長 植木委員ニ今度ハ提案ノ御説明ヲ願ヒマス。  
植木委員 私ハ先頃來約半ヶ月バカリ旅行致シテ居リマシタ

ノデ、缺席ヲ致シマシテ、從ツテコノ調査項目ヲ提出スル  
ニツイテノ御注意御通知ヲモ見マセヌデシタノデ、歸京ノ  
後取敢ヘズニココニアリマスヤウナモノヲ提出致シタ次第デ  
アリマス。從ツテ今日ココニ出席シテ見マス、私ノ提出  
シマシタ事項ノ如キハ、或ハ第二次委員會ノ審議ニ屬スベ  
キ性質ノモノデアルカモ知レズ、ソノ上ガ最モ適當デアル  
カモ知レナイト思ヒマスガ、兎ニ角私ヲ第一小委員會ノ方  
ニ御指定ニナリマシタノデ、ソノ方ノ調査項目トシテコレ  
ヲ提出シタ次第デアリマス。大倉委員カラモダンクノ御話  
モアリマシタ如ク、第一小委員會ニ於テ研究スベキ根本問  
題ニ關スル論議ト云フモノハ、コレハ重大問題デアリマス  
ガ、ナカクソノ結論ヲ適當ニ得ルト云フコトハ容易デナ  
カラウト私ハ考ヘマスガ、併シ國體觀念ト云フモノニツイ  
テノ我々國民ノ持ツテ居ル、又持タザルベカラザル正シイ  
觀念ト云フモノニツイテハ、既ニ明カナルモノガアル譯ト  
信ズルノデアリマス。從ツテ私ハ翼賛會ト致シマシテハ、  
寧ロソノ國體觀念ヲ闡明スルト同時ニ、コレヲ一般ニ宣揚  
スル實際問題ニ關シテ、即チ實踐躬行ノ問題ニツイテ考慮  
スルコトガ必要デハナカラウカト思フノデアリマス。勿論

根本的研究ヲ一面ニ於テ致スコトノ必要ナノハ言フ迄モアリマセヌケレドモ、既ニ歷代ノ御詔勅或ハ政府當局ニ於テ示サレタ文書類ニ於テ明ラカニサレテ居ル。モウ動カスベカラザル點ガ、儼トシテ存在シテ居リマスカラ、サウ云フコトヲ國民一般ニヨク徹底セシメルヤウニ、ソノ宣揚ノ方策ニツイテ當眞實會ニ於キマシテハ、適當ノ方策ヲ講ゼラレマシテ、直チニ着手サレルト云フコトガ必要デアルト私ハ考ヘマスノデ、コノ第一ノ事項ヲココニ掲ゲタ譯デアリマス。故ニ私ノココニ差上ゲマシタモノハ、取敢ヘズカウ云フヤウナコトヲ實行ニ於テ具現スルヤウニト云フ希望ノモノノミヲ掲ゲタモノデアリマスガ、ソノ第二ニ掲ゲマシタ敬神尊皇ニ關スル件ノ如キモ、最早説明ヲ要シナイコトデアリマス。唯々コレヲ實行スル上ニ於テ、眞實會ノ御盡力ト申シマセウカ、ソノ力ニ依ツテ、ソレガ具現スルヤウナコトヲ念願スル次第デアリマス。イロ／＼デアリマス中ニ、私ハ取敢ヘズココニ之ヲ掲ゲテ見タノデアリマスガ、敬神崇祖ト云フコトニツイテハ、説明スルヲ要シナイノデアリマスガ、ヨクコレヲ實踐スルコトデアリマス。各戸ノ神棚奉安ト云フガ如キハ、既ニモウ繰返シ／＼言ハレテ居ルコ

車掌ガ聲ヲ掛ケテ、只今明治神宮御前(或ハ靖國神社)ヲ通過致シマスト聲ヲ掛ケマスガ、ソノ外ノ神社ノ前ヲ通過スル時ニハ掛聲ヲ致シマセヌガ、電車ハ無論ノコト、道路ヲ通過スル者デモ敬意ヲ表スル者ガドレダケアルカト云フ事實ヲ見ルト、誠ニ心細イモノガアリ、大イニ注意スベキコトデアアル。サウ云フ場合ノ敬禮ヲ實踐サスルコト。尙ホ家庭祭祀ト云フコトノ大切ナコトハ、既ニ秋岡委員ノ御提案ニモ出テ居リマスガ、コレニツイテモ説明ヲ要シナイコトデアリマスガ、併シコレニ對シテモ教習ガ必要デアリマス。家庭祭祀ノ必要ナコトヲ教ヘルト同時ニ、ドウ云フ風ニ致スベキモノデアルカラ、一般的ニ教ヘルコトガ必要デアリマス。從來教ヘラレテ居ラナカッタト云ツテモ差支ナイノデアリマスカラ、コレヲ廣イ意味ニ於テ、家庭ノ祭祀ノ教習ト云フコトニナル譯デアリマスガ、サウ云フコトニツイテ我々ハ考慮致シマシテ、方策ヲ樹テテコレヲ實踐躬行スルヤウニシテ貰フコトガ必要デアリマス。先ヅコレ等ノコトヲココニ擧ゲマシタ譯デアリマス。コレダケデ總テデハナイケレドモ、取敢ヘズカウ云フ分り切ツタ事項ヲ、ココニ掲ゲタ次第デアリマス。

トデアリマスケレドモ、事實ニ於テソノ奉安ガ徹底シテ居ナイトコロガアリマスカラ、國民學校ニ神棚ヲ奉安シテ、神祇ニ對スル崇敬、祭祀ノ誠ヲ盡スト云フコトヲ實行スルヤウニ一ツヤツテ行クコト、コノ神棚ト申シマスノハ、申ス迄モナク天照大神ヲ初メトシテ、自己ノ氏神、又自己ノ崇敬スル神祇ヲ奉安シテ禮拜スルノデアリマス。コノ外ニ靈屋ト云フモノガアル譯デアリマス。從來佛教ノ方式ニ依リ御佛壇ヲ設ケ、ココニ先祖ノ靈ヲ奉安シテ、日夕禮拜スルノデアリマスガ、ソレダケノ設備ニツイテモ、實際ニ指導シテ、祖先崇拜ノ誠ヲ盡スヤウニシテ行クコトガ必要デアリマス。現ニサウ云ツタ設備ノナイモノモ若干アルコトハ事實デアリマス。サウ云フコトニツイテモ、イハユル實踐ノ方策ヲ講ズルコトガ必要ト思ヒマス。

次ノ社頭通過ノ際ノ敬禮ノ如キハ、御承知ノ通りノ現状デアリマスガ、願ミレバ滿洲事變ノ起ル前ニ於テ、東京市民ニ明治神宮ノ前ヲ通ツタ時ニ御辭儀ヲシタガ、宮城ノ前ヲ通ル時ニ御辭儀ヲシタカト云フト、我々ガ回顧シタ時ニ誠ニ申譯ナク感ズル次第デアリマス。只今デモ見テ居リマス、明治神宮ノ前ヲ通ル時、靖國神社ノ前ヲ通ル時ニハ

次ニ尊皇思想ノ肅正ト云フコトデ、コレモ申ス迄モナイコトデアリマスガ、陛下ノ御眞影ソノ他ノ尊貴ノ方ノ御寫眞ナドニ對スル恭敬ノ態度ト云フモノモ、始終云ハレテ居リマスケレドモ、コレヲ本當ニ實踐シテ行ク上ニツイテノ方策ヲ適當ニ定メル。

宮城遙拜モ申ス迄モナイコトデアリマスガ、チヨット餘計ノコトノヤウデアリマスガ、コノ調査委員會ニ於テ、毎回委員會ヲ開キマス毎ニ、宮城ヲ遙拜シテ、尙ホ祈念ノ默禱ヲ捧ゲルコトニナツテ居リマスコトハ、誠ニ結構ナコトデアリマスガ、コレハ當然ナコトデアリマス。併シコレガ實行サレテ居ラナイ會モアルヤニ承知スルノデアリマスガ若シ果シテ眞實會ノ調査會ニ於テサヘモサウ云フコトガ實行サレテ居ラナイモノデアルトスレバ、コレハ非常ニ遺憾ナコトデアリマス。コレハ甚ダ御迷惑カ知レマセヌガ、内ケ崎委員長カラ適當ナ機會ニ於テ、サウ云フコトガアリハシナイカト云フコトニツイテ御注意願ヒマシテ、是非トモコノ調査委員會ノ本會議ナドニ於キマシテハ、無論サウ云フコトガアルベキダト思ヒマス。サウ云フコトニ對スル宮城遙拜ヲ如何ナル場合ニヤルカト云フコトガ問題ニナリマ

スガ、宮城遙拜ニ對スル國民ノ實踐ノ方法等ニ關スルコトヲ一ツ考ヘル。

第三ニハ、集會開始ノ際ニ於ケル宮城遙拜、神宮遙拜、國歌齊唱ト云フコトデアリマスガ、コレナドモ區々ニナツテ居リマスカラ、ヤハリコレニ研究ヲ加ヘテ、本當ニ意義ヲヨク了解シテ、一齊ニ漏レナク致スヤウニスル。サウ云フ風ニ仕向ケテ行クコトニ、調査研究ヲシテ載キタイノデアリマス。

ソノ次ノ國民生活、教育體系ノ整備確立ニ關スル問題、コレニハイロ／＼アリマスガ、私ハココニ三項目ヲ擧ゲテ見タノデアリマス。先ヅ第一ニ國民ヲ鍊成スル方法トシテ、喫ノ訓練デアリマス。コレハ翼贊會ニ於テ既ニ御實行ニナツテ居ルコトデアリマシテ、非常ニ結構ナコトデアリマス。就テハ、全國民ヲ鍊成スル方法トシテノ喫デアリマス。特殊ノ人或ハ一部分ノ人ノ爲ニ行ハレタ喫ト同様ニ考ヘズニ、全國民ノ鍊成ノ喫デアルト云フコトヲ考ヘマシテ、コレニ對スル一ツノ研究方策ヲ、精密妥當ナ方法ヲ立テテ載イテ、サウシテソレヲ躬行實踐スルヤウニアリタイ。例ヘバコレニツイテハ簡單ニ濟マス譯ニハ行カヌト思ヒマス

メケレドモ、未ダ完備シタ立法ヲ見ルニハ至ツテ居ラヌト思ヒマスガ、例ヘバアノ日ノ丸方正中デアルカ、或ハ幾分片寄せタモノデアルカナドト云フコトモ、コレハ研究ヲ要スル大キナ問題デアルト私ハ信ジテ居リマス。ソノ形式、掲揚ノ方法、コレニ對スル尊重ノ觀念ノ涵養、或ハ掲揚ノ場合ナド、多々調査研究シ、サウシテコレヲ確リト決メテ置クコトガ必要デアリマス。要スルニ國家トシテハ國旗法ノ制定ト云フコトモ當然アルベキコトダト存ズルノデアリマスガ、コレハ最も大事ナ點デアリマスカラ、翼贊會ニ於テ研究シ實行スベキ一ツノ項目トシテ、コレ考フベキモノデアルト思ヒマシテ、コノコトヲ掲ゲタ次第デアリマス。例ヘバ今回ノ支那事變ガ始マリマシテカラ、國旗ニ文字ヲ認メテ、サウシテ出征者ニ贈ルト云フコトガ行ハレマスガ、カクノ如キハ未ダ嘗テナイ事實デアツテ、コレガ正シイヤリ方デアルカドウカト云フコトハ、深ク私ハ考ヘナクレバナラヌコトデアラウト思ヒマス。コレハ國旗ヲ汚ス所以下ナリハシナイカト思フ節ガ少クナイ、若シ國旗ニ文字ヲ書イテヨイモノナラバ、國旗ガ制定サレタ頃カラ、無暗ニ書キツケタノダラウト思ヒマスガ、未ダ嘗テサウ云フ

ガ、今日ハソノ細カナコトハ略スルコトニ致シマスガ、年ヲ取ツタ者ニ對スル喫訓練ガケデヨイモノデハナイト思フ。ヤハリ少年ニ對シテモ致ス必要ガアルト思フ。少年、青年、壯年、老年ニ對シ、ソレ／＼アルコトト思ヒマス。男子ニ對シテダケデナク、女子ニ對シテモコレハセネバナラヌ。一部分ノ人ダケデナク、全國民ノ鍊成ノ方法トシテ行ハネバナラヌ。非常ニコレハ重大且緊要ナモノデアリマス。今迄割合ニ簡單ニ喫ト云フモノヲ考ヘラレテ居ル節モアリマスガ、サウ云フモノデナクテ、大政翼贊會ガ喫訓練ト云フモノヲ御取上ゲニナリマシテ、訓練所ヲ設ケテ現ニ實行ニナツテ居リマスガ、ソレニツイテハヨクソノ根本ノ意義方策ヲ研究調査ヲ押進メラレマシテ、ココニ劃期的ノ新シクシテ正シイトコロノ喫訓練ト云フモノヲ全國一般ノ國民鍊成ノ方法トシテ實行ニナルヤウニアリタイト思フノデアリマス。局部的デナク一般のニ行ハレル妥當中正ナル方法ガ必要デアルト考ヘルノデアリマス。コレハ重大ナル一ツノ問題デアルト思フノデアリマス。

次ニ國旗ニ關スル條件デアリマスガ、コレモ大問題デアリマシテ、國旗ニ關スル法令ノ如キモ二三ナイデモアリマセ

例ガアリマセヌ。今回事變ガ始マリマシテ以來、ア、云フコトガ流行ツテ、國旗ニ字ヲ書クコトヲ斷レバ、非國民デアルト迄考ヘタリ、言ツタリスルト云フ傾向ガ起ツタコトハ、良キコトデアアルカドウカ。立派ナ國旗ニ「早く歸ツテ頂戴ナ」ト云フ文字ヲ書イテ出征者ニ贈ルト云フコトガアツテヨイノカドウカ、コレハ大イニ考ヘナクレバナラヌコトデアリマス。コレモナカナカ廣汎ナ意味ガ含マレテ居リマス。

ソレカラ地方部落ニ於ケル年中行事ニ關スル考查及指導ノ件デアリマスガ、地方ノ部落ノ年中行事ハ非常ニ意義ノアルモノデアリマシテ、容易ク之ヲ廢メテシマフベキモノデモナイ節ガ多イノデアリマスガ、併シ又ソノ中ニハ、時勢ノ進運ニ從ツテ改廢スベキモノモアリマス。コレハ地方ノ實際生活ニ非常ニ關係ヲ持ツテ居リマスカラ、考查指導ノ必要ガアリマス。無論コレヲ指導スル者ハソノ地方ニ直接關係ヲ持ツ人、若シクハソノ他ノ人デアリマスガ、サウ云フコトガ必要デナカラウカト考ヘマシタノデ、ココニ掲ゲタノデアリマス。

次ハ國民娛樂ニ關スル問題デアリマスガ、地方ノ農山漁



村ト云フ文字ヲ使ヒマシタガ、妥當デアアルカドウカ分リマセヌガ、地方ノ部落トソノコトデアリマス。コノ娛樂ニツイテハイロ／＼アリマスガ、盆踊、村角力、部落劇(村芝居)武道(劍道、柔道、射撃)運動競技ナドアリマスガ、ソノ指導及獎勵ニツキマシテハ、コレハ實會ノ一體ノ部ニ入ルモノデアリマスガ、カウ云フコトハ取扱ハルベキモノト思ヒマス。

要スルニコレ等ノモノハ、何レモ敬神尊皇ト云フコトニ根本ヲ持ツ國民思想ノ昂揚ニ關スルコトダト思ヒマスルガ故ニ、取敢ヘズ實行ニ移スベキモノト信ズル事柄ヲ數項舉ゲマシタ。勿論コレダケデ以テ、總テヲ盡シテ居ル譯デモナク、コレハホンソノ中ノ一例ニ過ギマセヌ。皆實例的ノコトデアリマスガ、要スルニソノ根柢トナル思想信念ト云フモノノ闡明昂揚ト云フコトガ最モ大切デアアルコトハ申ス迄モナイト考ヘルノデアリマス。簡單デアリマスガ、以上デ説明ト致シマス。

内々崎委員長 次ニ植村委員ノ案ガアルノデスガ、ソノ内容ハ第二小委員會ニ屬スルヤウナモノデアツテ、御本人モヤハリ第二小委員ニ屬シテオ居デニナリマスカラ、コレハ第

土内デ犯シタ罪ニ對シテ、人種ノ所屬シテ居ルセルピアニ對シテ責任ヲ問フト云フコトガ、ヤハリ人種、民族、國民ノ相違デ起ルノデアリマス。コノ前、私ハアメリカニ於ケル日本ノ第二世ノ例ヲ取ツテ説明シマシタガ、サウ云フ譯デコノ問題ハ非常ニ大切ナ問題デアリマス。コノ委員會ハ國民精神昂揚ノ委員會デアリマシテ、從ツテ國民精神トハ何ダト云フコトヲハツキリシテ居ナイト、非常ニ困ルト思フノデアリマス。先程申シマシタヤウニ、日本ハ人種民族國民ノ三ツガゴツチャニナツテ居ルガ、ソレデヨロシイノカ、各々ヲ明確ニシナケレバナラヌノカ、例ヘバ民族精神ト云フコトヲ非常ニ強ク云ツテ來ルト、日本ニ於テモ朝鮮民族ト云フモノガ考ヘラレルノデアリマス。日本ガ民族精神ヲ非常ニ強調スレバ、朝鮮民族モヤハリソノ民族精神ヲ非常ニ強ク云ツテ來ル。殊ニ我々ノ不可解ニ堪エナイノハ、滿洲國ニ於テハ五族ト云フコトニナツテ、日本人ノ外ニ朝鮮民族ヲ分ケテ居ルノデアリマス。コレハ滿洲國ノ關係デアリマセウカ、或ハ滿洲國ニ於ケル日系官吏ノ思想ノ混亂ト云ヒマセウカ、コレモ非常ニ大キナ問題ダト思ヒマス。サウ云フ意味デ、國民トハ何ダト云フコトヲハツキリ

二小委員會ノ方ニ廻スコトニ致シマシテ、赤神委員ガ御出席ニナリマシタカラ、御提出ノ御案ノ御説明ヲ願ヒ致シタイト思ヒマス。

赤神委員 ココニ私ハ五ツノ案ヲ掲ゲテ置イタノデアリマス。簡單ニ御説明申上ゲマス。第一ハ、國民精神ノ意義闡明ノ問題、コレハ前ノ第一調査委員會ノ總會ニ於テ申上ゲマシタヤウニ、日本デハ國民ト人種ト民族ノ概念ガ、全クソノ經驗内容トシテ一ツノ形ニナツテ居リマスカラ、ソノ點非常ニ混合シテ居ルノデアリマス。併シ日本ガダクノ國際的ト云ヒマセウカ、東亞共榮團ト云フヤウナ廣イ區域ニ延ビテ行クトスレバ、ココニ人種民族、國民ト云フ概念ヲハツキリシテ置カナイト、非常ニ混ガラガツテ來ル。例ヘバ歐洲戰爭ノ發端ニナツタオーストリアノ皇太子ニ對シテ爆彈ヲ投ゲタ青年ハ、セルビヤ人種デアリマスケレドモ生レハオーストリアデアリマスカラ、國民トシテハオーストリアデアツテ國籍モヤハリオーストリア人デアリマス。併シ人種ハセルビア人デアリマスカラ犯罪ノ行ハレタ土地ハオーストリアデアアルニモ拘ラズ、オーストリアハ青年ガセルビア人ナルガ故ニ、コノ責任ヲセルビアニ問ヒ、到頭最後ノ通牒ヲ突ツケルコトニナツタ。自分ノ國民ガ自分ノ領

シテ職キタイ、日本國民——國民精神デアアルナラバ、無論朝鮮民族モ、誰モ疑フコトナク日本國民デアリマスカラ、ソレデ差支ナイノデアリマス。ソコニハ對立關係モ區分關係モナイ。然ルニ日本デハ往々ニシテ民族民族ト云ツテ居リマス。コレハ最近ドイツ流行ツテ居ル言葉デアリマスガ、ドイツノ民族ハドイツノ歴史カラ見テ、ドイツハ非常ニ小サイ國ガ分立シテ居タ。ベーデン、ヘッセン、バイエルン、ウエルテンベルグノ小サイ國ニ分立シテ居ツタノデ、今日トシテハドイツ國民ト言ヒタイモノヲ、ソノ當時ハドイツ民族ト言ハナケレバナラナカツタ。從ツテ經濟學モボルクリツセンシヤフトハ日本デハ國民經濟學ト譯シテ居リマスガ、本當ハ民族經濟學デアリマス。サウシテドイツ人ガ民族經濟學ト云ツテ、民族ト云フ範圍内デ纏メテ、本當ノ國ニシヨウ、國民ニシヨウト考ヘテ居ツタ。コレハ話ガチヨツト分リニクイカ知レマセヌガ、ドウモサウ云フ風ニゴツチャニナツテ居ルノデアリマシテ、日本人ガ國民ト云フ概念ヲドイツ人ハ民族ト云フ概念デ代用シテ居ツタ。カウ云フ歷史的ノ關係ガアルノデアリマス。ドイツガ民族ドイツト云フト、日本モ直グソレヲ持ツテ來テ、コ

レヲ民族ト云フガ、人ノ民族ノ中ニハ明ラカニ人種ト云フ考ヘガ深ク入ツテ居リマス。ドイツハ御承知ノ通り人種的ニハ、最モ優秀ナ、世界ヲ統一スベキ人種的ノ優秀ヲ保持ツテ居ルト云フ譯デコノ人種ノ優秀サト民族ノ概念デアアル文化ヲ引括メテ、今ノドイツハソレヲヤツテ居リマスケレドモ、ドイツノ考ハ科學的ニ云ツテ正シクナイ。正シクナイ考ヲ日本ニ轉入シテ來ルノデ、ソレ尙ホ混亂シテ居ルト考ヘルノデアリマス。日本人ハ國民精神デヨロシイ。天皇陛下ノ大御稜威ノ及ブ所統治權ノ及ブ所、ソレガ國民デアルカラ、國民精神デヨロシイト思フノデアリマス。從ツテ私ニ言ハシムレバ、人種ト民族ト國民ト云フ觀念ヲハツキリセシメテ、我我ハソノ中ノドレヲ選ブノダト云フ事ヲ先ヅ第一ニ検討シテ行クベキダト思フ。之ヲ明確ニスル必要ガアリマス。

コレハ語原ニ遡ツテ説明スル迄モアリマセヌガ、ボルクト云フノハ「多イ」トカ「集團」ト云フコトデコレヲ民族ト考ヘテ來タ、ナシヨナルヲ國民ト考ヘテ來タガ、ナチスハ生レルト云フコトデ、生ルコトトソノ統治ニ關係シテ居リマス。ラツセンハ人種ト云フノダガ、コレハ血ト云フ語

ハ明ラカニ區別スベキダ、私ハ國學ノ方ハヨク分リマセヌガ、國學ノ方カラモ臣ト民トハ違フ。サウシテ私ノ考ヘテハ臣ト云フノハ今ノ言葉デ云ヘバ官吏、民ト云フノハ國民、無論官吏モ國民デアリマスガ、政治關係ニ於テハ國民ヨリ上デアリマス。ソコデ私ハ惡口ヲ言ヒマシテ、大政黨會ガ臣道實踐ノト云ハレルガ、コレハ今ノ役人ガソノ道ヲ履マナイカラ、役人ニ其道ヲ履メ道ヲ履メト云ツテ居ラレル。我々國民ハ民草デアツテ、唯風ガ吹ケバソノ方ニ靡ク、大御稜威ノ風ガ吹ケバソノ方ニ從順ニ靡クノデ、臣道實踐ノ必要ハナイ。ダカラ官吏ダケ臣道實踐ノト云ツテ居ルノダ、神ニロナシ人ヲシテ言ハシムナドト、惡口ヲ言ツタコトガアリマスガ、コレハ民道ヲ實踐セヨト云ハレルノカ、臣道ヲ實踐セヨト云ハレルノカ、臣道ト民道トハ非常ニ違フヤウデアリマス。臣道トハ大御心ヲ體シテ民ヲ導イテ行カネバナラヌ指導的ノ役割デアリ。民道ハコレニ從ツテ行ク、大體ハサウ云フノダト思ツテ居リマス。ヨクコノ頃、流行ル言葉デ、ソノ各々ヲシテソノ處ヲ得セシムルト云フノハ、コレハ政治ノ働キデアリマシテ、且ツサウ大御心デ御考ヘニナツタノダト私共ガ拜察スルノハ畏

原カラ來テ居リマス。私ガコレハ總會デ説明シタ通りデアリマス。人種ハ生理的遺傳的ノ關係デ、民族ハ歴史の傳統文化ノ關係、國民ハ統治關係カウ云フ風ニ考ヘテヨイト私ハ思ヒマスガ、コノ說ヲ一般的ニ正シイトハ言ハナイガ、コノ委員會デハツキリソレヲ決メテ戴キタイ、サウシテ我々ハドレヲ望ンデ居ルカ、先ヅ我々ノ行クベキ道ガ分ラナイノデハ駄目ダト云フノガ第一デアリマス。

第二ハ翼贊術語ノ規格統一ノ問題、コレハ日本デハイロイロノ外來語ガ入ツテ來テ、ソノ規格ガ亂レテ來ルコトハ御承知ノ通りデアリマス。國家全體ニコノ運動ヲヤツテ來ルト云フコトニナルト、ソレヲ傳ヘルモノハ言葉デ、カウ云フ言葉ヲ明確ニシテ居ナイト、目的結果ガアベコベニナツタリスルコトガアリマス。ソノ一例ト言ヒマセウカ、大政黨會デハ臣道實踐ト云ツテ居ル。文部省デハ臣民ノ道ト云ツテ居ル。コノ間ノ新聞ニ私ノ尊敬シテ居ル吉田熊次先生ガ、コノ頃民ト臣ト分ケテ考ヘル人ガアルガ、ソノナコトハ意義ガナイ、同じコトダト言ツテ居ラレルノヲ見マシタ。私ノ先生デアリマスカラ、イツカ又機會ヲ見テ御説明ヲ聽カウト思フノデスガ、私ノ考ヘニ依レバ、臣ト民ト

多イコトデアリマスガ、義ハ君臣ニシテ情ハ父子ト、義ト情ヲハツキリト云ハレテ居ルコトヲ明確ニ意識シテ、戴キタイト思ヒマス。情ニ於テハ各々ソノ處ヲ得セシムルト云フコトヲ御考ヘ下サレテ、誠ニ有難イコトダト思ヒス。併シ親子ノ關係デアウ云フコトヲ御考ヘ下サルコトハ感佩ノ至リデアリマスガ、併シ義トシテハ飽ク迄君臣デアツテ、コノ點混同シテハイケナイ。情デアウ云フ有難イ思召シテ下サツテモ、我々臣民ハ飽ク迄モ義ニ依ツテ忠節ヲ盡サネバナラヌ。飽ク迄モ君ト臣デアリ、君ト民デアリマス。私ノ信念トシテハ、民トシテハ大御心ノ有難イコトヲ拜察シ感謝シマシテ、ソレニ從ツテ行ク、サウシテ民トシテ、カウダトカア、ダトカ云ツテ、皇道ト云ヒマスカ。天皇ノ政治ニツイテ希望ヲ述べたり、推察シタリスルコトモ、甚ダ畏多イコトト思フノデアリマス。日本ニ於テ、皇道ハア、ダトカカウダトカ、各々ソノ處ヲ得セシムルコトダトカ言フコトハ、多クハ孟子ノ思想ダ。私ハ孟子ノ説明ヲスル程デアアリマセヌガ、御承知ノ通り孟子ト云フ本ハ民ニ教ヘタモノデアリマセヌ。君ニ對スル教科書デアツタノデス。民ガコレヲ讀ムノハ間違ヒデアルト考ヘテ居リマス。然ル

ニ孟子ノ思想ガ非常ニ日本ニ入ツテ來タ、イハユル支那ニ於ケルデモクラシーノ思想ガ入ツテ來テ、日本思想ヲ混淆セシメテ居ルト思フノデアリマス。カウ云フヤウナ意味デ翼贊會デオ使ヒニナル術語デ分リニクイノガ澤山アリマスカラ、コレカラ使ハレル言葉デモ、コレ迄使ハレル言葉デモ、苟クモ翼贊會デヤル根本的ノ問題ニ觸レル言葉ハ、ソノ専門家ヲシテ嚴重ニ吟味サシテ使ツテ欲シイ、ヨイ加減ノ思ヒツキデ使ツテ實ヒタクナイ。或ハスローガンノ募集カ何カシテ、チヨット氣ガ利イテ居ルカラコレデヤラウト云フノデハ困ル。サウ云フ言葉カラ概念ヲ導カレテ來ルモノデ、言葉ハ永久ニ殘ル。誤ツタ言葉ガ使ハレルバソノ誤ツタ概念ガ殘ル。コレハ私ガ説明スル迄モナイト思フノデアリマスガ、日ハ西山ニウズクトカ、日ハ西山ニ沈ムトカ、或ハ日ガ東天ニ上ルト云フガ、理科ノ試験ノ時ニ太陽ガ沈ンダトカ、上ツタトカ言フト落第デ、太陽ハ上ルコトモ沈ムコトモナク、地球ガ自轉シタト云ハナケレバナラヌ。地球ガダン／＼自轉シテ太陽ガ見エナクナツタト云ハネバナラヌ。日ガ西ニ沈ムトカ、太陽ガ上ルトカ云フ間違ツタ言葉ガアル爲ニ、我々ガ常ニ云ヒ現シ方ガ間違ツテ來ル。コンナ間違ツタ言葉ノ爲ニ、間違ツタ

使ツテ欲シイ。重ネテ申シマスガ、私ノ批評ハ當ツテ居ラナイカ分リマセメガ、私ノ希望スルトコロハサウデアリマス。

第三ニハ、昂揚運動ノ準則問題デアリマス。コレハコノ小委員會ヲ作ル問題ノ起リトナツタ皆川委員長ノ案デアリマス。コノ準則如何、ソノ案ヲ如何ニシテ決メテ行クカト云フ問題デアリマスガ、私ハ皆川サンノ案ニハ全然不賛成デアリマセメガ讀ンデ行クトイロイロノコトガ考ヘラレル。ソノ中デ私ガ最モ遺憾ニ思フノハ、コノ前モ私ハチヨット言ツタノデアリマスガ、祖先モ子孫モ皆一緒ダト云フコトハ、ワイスマンノ法則デ、馬ノ腹ノ中ニ寄生シテ居ル蠅虫ノ生殖状態ト同ジコトデアル、ソコカラ行クト一種ノ唯物論デアリマス。サウシテ子孫ハ大切ダ、サウシテ親ハ子孫ノ爲ニ犠牲ニナラナケレバナラヌト云ツテ居ラレマスガ、ソレハヤハリ親トシテハ子ノ爲ニ犠牲ニナリタイト思ハレルカモ知レナイ。ケレドモ子トシテ親ノ心ヲ推察スルノハ不適當デヤナイカト思ヒマス。子トシテソレヲ親ニ強ヒテハ行ケナイ。ソコデコノ前ニ申シタ通り、神様ハ親デアリ、君ハ親デアルト云フ言葉ガアリマス、コノ言葉ガア

思想ヲ永久ニ殘スデアラウト思フ。コノ點ハ根本的ニ深く考ヘテ載キタイト思フノデアリマス。マダソノ外ニ澤山アリマスガ、職域奉公ト云フコトモ、職域奉公ダケデヨロシイノカ、勿論職域ハ大イニ盡サネバナラヌガ併シ官吏ハ官吏トシテ職域ヲ完全ニ盡サネバ人間デナイ、教員ハ教員トシテ完全ニ職域ヲ盡スガ、ソレデ御奉公ニナルノカ。私ハ奉公ト云フノハサウデハナイ。職域ヲ盡スノハ當リ前デ、尙更ニ進ンデ、本當ニ公ニ盡ス、職域以外ニ自分ノ利害關係トカ總テノモノヲ抛ツテ、公ニ盡スノガ本當ノ奉公デヤナイカ。教育勅語ニ義勇奉公ト仰セラレテ居ルノハコノ意味デアリマス。豆腐屋ガ豆腐ヲ作ツテ賣ツタダケデハ私ハヨイトハ思ハナイ。コレハ私一個ノ考ヘカモ分リマセメガ、翼贊會ノ使ツテ居ラレル言葉ニ批評的ノコトヲ言ヒマシテ濟マナイヤウデアリマスガ、眞面目ニ自分ハ豆腐ヲ作ツテ賣ツテ居ルカラ職域奉公デソレガ眞道實踐ダト思ツテ居ル人モアルカモ分ラナイ。コレデコノ非常時ヲ乗切レルカ、ヤハリ義勇奉公デナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス。サウ云フ譯デ翼贊會デ使ハレル術語ト云フモノハ規格ヲ統一シテ、根本的ニ考ヘテ間違ハナイ術語ヲ

ルカラ承認ガ出來ナイト言ツタノデアリマスガ、民トシテハ大君ニカウ云フコトヲシテ欲シイト云フコトヲ要求シテハイケナイト、私ハ確信シテ居リマス。カウ云フ譯デコノ案ヲ如何カト思フノデ、衆議院ノ方式ニ依ラレルダラウト思ヒマスガ、自分ノ案ガヨロシイト云ハルレバソレニ服スルツモリデアリマスケレドモ、昂揚運動ノ準則ヲ決メルナラバ、皆ガ納得スルヤウナ的確ナモノヲ決メテ載キタイト云フコトデアリマス。コレヲ決メルニハドウシテ決メルカ、小委員會ヲ作ツテ、皆川案ヲ原案トシテ逐次ニ検討シテ行ツテ、アノ案ハ少シ分リニクイカラ、モット筆ノ立ツト云フトオカシイガ、平易ニモノヲ現スヤウナ方ニ頼ンデ平易ニ書キ現シテ賣ツテ、準則ヲ早く決メルト云フコトガアツテヨイノデヤナイカ。皆川委員長ノ御精神ニ對シテハ異議ガアリマセヌ。皆川委員長モノノ精神ガ通レバ、不賛成セラレルコトモナイヤウニ考ヘル。

第四ハ、所謂「根本問題」ノ限度範圍ノ問題、コノ根本問題トシテハ、日本ノ政治トカ經濟トカ法律トカ、イロ／＼ノ問題ヲ取扱フト云フコトヲ、コノ前提議サレタヤウデアリマスガ、ソノ程度限度ノ問題、アマリコノ問題ノ範圍ヲ

考へナイト、結局他ノ委員會ノ分迄モ、根本ニ於テハコツチニ關係ガアルカラヤラウヂヤナイカト云フコトニナリマス。サウシテ外ノ委員會トスツカリ重複シテシマツタリシテ、從ツテ委員會ヲ分ケテ趣旨ニモ悖ルシ、議事モ早ク進マナイ、イハユル根本問題ノ檢討範圍ヲドノ程度迄スルカト云フコトヲ、審議ニ入ル前ニ決メテ戴キタイ。

第五ハ昂揚ノ方式ノ問題デ、例ヘバ國民精神ヲ昂揚スルト云フ事ニナルト、ドウ云フ手段方式ニ依ツテコノ問題ヲヤルカ。手段ノ中ノ細カイコトハイロ／＼第二小委員會ヤ何カデヤラレルデアリマセウガ、コチラノ小委員會トシテハドウ云フ手段方法ヲ用ヒルカ、例ヘバ文書デ行クトカ、講演會デヤルカ、又、コノ國民精神ニ反スル者ハ警告ヲ與ヘルトカ、監視ヲスルトカ、或ハコノ委員會ノ言葉トシテハ當ラヌカモ知レマセウガ、思想戰ニ於ケル國民精神ノ昂揚、思想戰ニ於ケル警戦隊、或ハ新撰組ミタイナモノヲ作ツテ、文書ニ、口ニコノ根本精神ニ反スル者ハ、徹底的ニ殲滅スル、如何ナル人間ニ對シテモ遠慮ナクヤル、例ヘバ大臣デモ何デモ、コノ方針ニ不賛成ノ者ハ遠慮ナク警告ヲ發シ、ソレニ服シナケレバ遠慮ナク殲滅スル、コレニハド

ウ云フ方式ヲ以テ、コノ運動ヲ展開シテ行クカト云フコトヲ決メテ行ク。コレガ先ヅ私ノ考ヘダ。先ヅ手ツ取り早クヤラナケレバナラヌ根本問題ノヤウニ考ヘマシタノデ、コノ五ツヲ出シマシタガ極ク簡單デアリマス。

内ヶ崎委員長 只今赤神委員ヨリ御提案ノ簡潔ニシテ而モ頗ル適切ナ御意見ガアリマシテ、コノ委員會ト致シマシテハコノ御意見ニモ重キヲ置イテ、サウシテ進メタイト思ヒマスガ、私ハ委員長トシテドウコノ委員會ヲ進メテ行クカト云フコトノ心構ヘヲ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、コノ前皆川委員長ノ御出シニナリマシタノハ、勿論一ツノ參考案デハアリマスケレドモ、必ズシモアレソノ儘コノ委員會ノ案ニシナケレバナラヌト云フ御主張デハナイヤウニ思フノデアリマス。勿論有力ナル參考案ニハ違ヒナイノデアリマス。コノ小委員會ト致シマシテハ、實際頗ル難シイ案ヲ取扱ツテ居ルノデアリマシテ、各位ノ御努力ニ依ツテ、成ルベク速カニコレヲ決定致シタイノデアリマスケレドモ、相當コレハ困難ナ事項デアルトハ思ヒマスガ、各委員ノ御意見ヲ承リマシテ、ソレヲ我々委員會ニ於キマシテ研究致シマシテ、成ルダケ皆様方ノ大體一致ニナルヤウナ點デ以

テ進メテ行クベキモノヂヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス。ソレデドウカ各委員ヨリ速カニ事務當局宛ニ御案ヲ出シニナリ、コノ次ニ印刷ニシテ配リ致シマシテ、ソレ等ノ方々ノ御説明ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス。(佐藤清勝委員ヨリノ修正提案朗讀ハ便宜上冒頭ニ挿入セリ)佐藤(清)委員ハ印刷シタモノニ對スル修正ノ提案ヲ出サレタノデアリマスガ、本日ハ御出席ニナツテ居リマセウカラ次會ニ於テ御説明ヲ承ルコトト致シマス。尙ホ時間ガアリマスカラ、マダ御意見ヲ御提出ニナラナイ方々デ、今日コノ所デ取敢ヘズ御述べニナリタイト云フ御希望ガアレバ、コノ際御意見ノ御發表ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス。ゴザイマセウケレバ、先程來ノ御意見ニツイテ、大倉委員ハ第二委員會ノ方ニ御出席デアリマスガ、ソノ他ノ御意見ニ對シテ御質問デモアレバ御述べテ願ヒマシテ、又改メテ御説明ヲ願フノモヨロシイカト思ヒマス。

植木委員 只今赤神委員カラノ御話ガアリマシタ。ソノ中ノ第五項ノ昂揚方式ノ問題ト申シマスノハ、私ノ差出シマシタ思想統一ニ關スル問題ノ第一項ノ、團體觀念ノ闡明トソノ宣揚方策ニ關スル件ト一致スルコトデアラウト思フノデ

アリマスガ、ソノ他御述べニナリマシタコトニツキ、何レモ同感デアリマスガ、ソノ中デ術語ヲ統一スルヤウニト云フ御話デゴザイマスガ、コレハ話ガ少シ横ニ逸レルカ知レマセウガ、獨リ翼會ニ關スルコトノミニ限ラズ、ドウモ我が國ニ於テ、總テノ方面ノコトガ、術語ノ統一ヲ欠イテ居ル爲ニ非常ナ不便混亂弊害ヲ生ズルコトガ少クナイト常ニ感ジテ居ル一人デアリマス。故ニコノ翼會デ使ヒマスル言葉ノ統一ト云フコトニツイテハ、特ニ注意シテ戴クト云フコトハ、コレハ誠ニ大切ナ一ツノ事項デアルト私モ信ズルノデアリマス。今オ話ニアリマシタ、教學局ノ示サレマシタ「臣民ノ道」ト翼會ガ掲ゲル言葉ノ「臣道實踐」ト云フ如キハ、蓋シ指ス處ハ同一デアラウカト思フノデアリマスガ、又同一デアアルベキダト思ヒマスガ、併シナガラ官邊ニ於テ左様ニ言葉ガ二ツニ分レテ居ルト云フコトハ、一般ノ大多數ノ人ヲシテ、少クトモ一度ハ感ハシムルト云フ結果ヲ生ムニ相違ナイト思フノデアリマス。カウ云フコトハ外ニモ多々アラウ。コレハ現代ノ一種ノ弊風ダト云ツテヨイト思フノデアリマス。或ハ學界ノ弊風ト申シマセウカ、有識者間ノ弊風ト申シマセウカ、兎ニ角弊風デアラウ

ト思ヒマス。コノ弊風ヲ正シ直シテ行クト云フコトモ、ヤハリコノ翼賛運動ノ一ツノ方策デアルカト思フノデアリマス。而シテソノ用語ヲ適當ナモノヲ選ビ、ソレヲ出來ルダケ統一シテ、彼此相違矛盾スルコトノナイヤウニスルコトニ努力シテ戴クト云フコトニツイテハ、特別一ツ御考慮ヲ願ヒタイモノダト私モ考ヘル次第デアリマス。

ソコデコノ臣民ノ御話デアリマスガ、赤神委員モ仰シヤツタヤウニ、昔カラ用ヒテ來マシタ臣民ト云フ言葉ハ、臣ト民トハ別デアリマシテ、支那ニ於テハ臣モ民モ漢字デアリ、臣ト民トハ別ノ觀念デアアル。我方國ニ於キマシテモ臣(オミ)ト民(タミ)トハ別ノ觀念デアリマス。臣民ト熟語ニ致シマシテモ、ソレハ臣トサウシテ、民ト云フコトデアリマシテ臣ト民トハ別ニ使ツテ來タノデアリマスガ、然ルニ明治維新頃ニナリマシテ、臣ト民トヲ一ニ致シマシテ、臣民ト云フ一ツノ新シイ言葉ガ新造サレタカト考ヘルノデアリマス。爾臣民ト勅語ニモ仰セラレテ居リマス。臣民ト云フ一ツノ大キナ例ト申シテヨロシイノデアリマス。我々一同モ皆コノ意味ニ於テ臣民ト云フコトヲ使ツテ居リマス。コノ意味ニ於ケル臣民ハ上ニ立ツテ政治ヲ行フトカ、或ハ指

導ノ地位ニ立ツ方バカリデナク、一般ノ農山漁村ノ民モ、一般國民全體ト云フコトニ使ハレテ居ルト思フノデアリマス。然ラバ、臣民ノ道ト云フ言葉ガ適當ノ言葉デアリ、又教學局ガ「臣民ノ道」ト題スル文書ヲ出シタト云フコトモ適當ダト思フノデアリマス。然ラバヤハリ臣民道實踐ト云フ言葉ヲ用フルト一ツノコトニナリ、極メテ適當ナ用語デアツタノデアリマス。自分ノコトヲ申スノハ如何カト思ヒマスガ、皇運扶翼ノ臣民道ト云フコトハ、私ノ久シク用ヒテ來タコトデアリマシテ、寧ロ臣道ト云フ言葉ヲ聞クニ至ツテ、チヨット一時ハ異様ノ感ヲ抱イタヤウナ譯デアリマス。皇運扶翼ノ臣民道、臣民タルノ道ト云フコトハ多ク用ヒラレテ居ツタノデアリマスガ、今日臣道實踐ト云フ言葉ガ一種ノ標語ノヤウニ掲ゲラレ、天下周知ノコトデアリマス。イハユル臣道實踐ハ即チ臣民道實踐デアツテ、イハユル臣(オミ)タルノ道ヲ實踐スレバ、民(タミ)タルノ道ハドウデモヨイト云フ意味デハナイ。臣道トハ臣民道ノコトデアアル。カウ解釋スベキモノト信ジマス。又サウデナケレバナラヌ譯デアリマスガ、兎ニ角、臣民道ト云フ言葉ト臣道ト云フ言葉ト、二ツガ別々ニ使ハレルト云フコトハ、最初

カラ注意シテサウ云フコトガナイヤウニアリタカツタノデアリマスガ、今日既ニ用ヒラレテ來タノデアリマスカラ、今更ラ取消ス譯ニモ行キマセヌガ希フトコロハ先程赤神サシカラ御話モアリマシタ如ク、用語ニツイテハ餘程注意ヲシマシテ殊ニ標語ニ掲ゲルモノニツイテハ、餘程注意ヲシテ戴キタイノデアリマス。一時八紘一字ト云フ言葉ガ流行リマシタガ、近ゴロ八紘爲宇ト云フ言葉ガ用ヒラレルヤウニナリマシタ。日本書紀ニ「八紘ヲ掩ヒテ宇ト爲ス」ト云フ言葉ガアルノデ、爲宇ガヨイト云フノデアアリマセンデセウカ。サウ云フコトヲ考ヘテ見ルト、言葉ヲ決メテ使ヒマス場合ニ於テハ、餘程慎重デナケレバナラヌ。職域奉公ト云フコトモ云ハレテ居リマスガ、近頃ハ職分奉公ト云フ言葉モ用ヒラレルヤウニナツタ。カウ云フヤウニ數年經ツト言葉ガ變ツテ、前ノ言葉ガ忘レラレテシマフト云フコトハ、非常ニコレハ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、

嘗テ文部省ハ「建國ノ精神」ト云フコトヲ盛ンニ用ヒマシタ。然ルニソノ後約變シテ「肇國ノ精神」ヲ用ヒルヤウニナリマシタ。サウシテ今ヤ「建國ノ精神」ヲ殆ド用ヒナイト云フコトニナツテシマヒマシタ。サウ云フコトガイハユ

ルコノ思想ヲ指導シ、文教ノ大方針ヲ示スコロノ根本ニ於テサヘモアルト云フコトハ、コレハ如何ニ考フベキコトデアアルカ、本會ニ於キマシテモソノ點ハ極メテ慎重ニ致スベキモノデアルト思ヒマス。要スルニ明治ノ末年。大正以來ノ極メテ自由勝手ナ、總テヲ討査研究セズシテ、何デモ直グニ極メツケテシマフト云フ風潮ニ關係シテ居ルノデハナカラウカ。カウ云フ點ヲ考ヘルト、カウ云フコトニ注意スルコトガ即チ國民精神ヲハツキリト掴ムコト、又コレヲ實際ノ上ニ現スト云フコトニ關係ノアルコトダト信ズルノデアリマス。コレハホソノ一例デ事實ニ於テ現レテ居ルコトデアリマスガ、サウ云フ點ニ特ニ注意スルヤウニ、コノ翼賛會ガ大道ヲ決メルヤウニアリタイト云フ希望ヲ述ベテ置キマス。

内ヶ崎委員長 別ニ御質問モナイヤウデスカラ、今日ハコレニテ散會致シマス。

午前十一時五十五分散會

